

2008年度決算

2008年度に行った主な工事

体育館及び50m屋外プールを解体し新校舎建設1期工事に着手しました。

資金収支計算書

項	目	金額 (単位千円)
収入の部	学生生徒納付金収入	899,855
	手数料収入	37,396
	寄付金収入	89,488
	補助金収入	1,044,385
	資産運用収入	25,186
	資産売却収入	304,546
	雑収入	41,638
	借入金収入	1,380,613
	前受金収入	171,749
	その他の収入	715,039
	資金収入調整勘定	△ 586,181
	前年度繰越支払資金	435,977
	収入の部合計	4,559,691
支出の部	人件費支出	1,260,268
	教育管理経費支出	286,178
	借入金等返済支出	106,504
	施設関係支出	1,572,888
	設備関係支出	12,127
	資産運用支出	230,000
	その他の支出	166,557
	資金支出調整勘定	△ 62,453
	次年度繰越支払資金	987,622
	支出の部合計	4,559,691

消費収支計算書

項	目	金額 (単位千円)	
収入の部	学生生徒納付金	899,855	
	手数料	37,396	
	寄付金	94,013	
	補助金	1,044,385	
	資産運用収入	25,186	
	資産売却差額	6,383	
	雑収入	41,638	
	帰属収入合計	2,148,856	
	基本金組入額	△ 680,718	
	消費収入合計	1,468,138	
	支出の部	人件費	1,265,420
		教育管理経費	382,227
		資産処分差額 他	104,796
消費支出の部合計		1,752,443	
消費収支差額		△ 284,305	
前年度繰越消費収入超過額	281,748		
翌年度繰越消費収入超過額	△ 2,557		

貸借対照表

(2009年3月31日現在)

金額 (単位千円)

	科目	本年度末	前年度末	増減
資産の部	固定資産	6,337,970	5,107,780	1,230,190
	有形固定資産	3,373,903	1,985,208	1,388,695
	その他の固定資産	2,964,067	3,122,572	△ 158,505
	流動資産	1,596,438	1,254,106	342,332
	資産の部合計	7,934,408	6,361,886	1,572,522
負債の部	固定負債	1,982,312	771,517	1,210,795
	流動負債	433,854	468,540	△ 34,686
負債の部合計	2,416,166	1,240,057	1,176,109	
基本金の部	第1号基本金	4,795,187	4,214,469	580,718
	第2号基本金	550,000	450,000	100,000
	第3号基本金	48,612	48,612	0
	第4号基本金	127,000	127,000	0
	基本金の部合計	5,520,799	4,840,081	680,718
消費収支差額合計	△ 2,557	281,748	△ 284,305	
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	7,934,408	6,361,886	1,572,522	

※消費収支計算書

消費収支計算書は、当該年度の帰属収入合計(借入金等の負債となる収入は除く)から基本金組入額を控除した「消費収入の部合計」と当該年度に消費する「消費支出の部合計」を比べて「消費収支差額」を算出します。これにより当該年度の収支の均衡や経営状態の健全性を判断することができます。

基本金組入額は当該年度の資産取得額や校舎建築積立資金等です。

2008年度の帰属収入は2,148,856千円、基本金組入額は680,718千円です。よって消費収入の部合計は1,468,138千円となります。消費支出の部においては、建物等取壊費が今年度より29,433千円発生し消費支出の部合計は、1,752,443千円となり284,305千円の消費支出超過額となりました。

※資金収支計算書

資金収支計算書は、当該年度の諸活動に対応する全ての収入、支出の内容を明らかにすることと、支払資金の顛末を明らかにすることです。支払資金は前年度繰越が435,977千円、次年度繰越が987,622千円となり551,645千円増加しました。これは、次年度満期の大口定期預金が増加したためです。

※校舎建築に関する資金について

私学振興事業財団から10億円借入しました。
愛知県からの施設補助金は268,073千円でした。
減価償却特定資産の取り崩しを行いました。

※基本金とは

学校会計基準では「学校法人が、その諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために維持すべきものとして、その帰属収入のうちから組み入れた金額を基本金とする」と定めています。
組み入れる額
第1号基本金
教育の用に供される固定資産の価額・・・建物・構築物・機器備品・図書

第2号基本金
将来取得する固定資産に充てる金銭その他の資産の額・・・校舎建築資金
第3号基本金
基金として継続して保持し、かつ、運用する金銭等の額・・・国際交流基金
第4号基本金
恒常的に保持すべき資金の額・・・前年度の消費支出(人件費+教育研究経費+借入金等利息)の12分の1

資金収支予算書

項	目	金額 (単位千円)
収入の部	学生生徒納付金収入	938,156
	手数料収入	32,530
	寄付金収入	88,000
	補助金収入	1,001,869
	資産運用収入	25,870
	資産売却収入	400,000
	雑収入	6,550
	借入金収入	370,330
	前受金収入	161,000
	その他の収入	1,466,851
	資金収入調整勘定	△ 542,079
	前年度繰越支払資金	987,622
	収入の部合計	4,936,699
支出の部	人件費支出	1,237,870
	教育管理経費支出	333,870
	借入金等利息支出	12,670
	借入金等返済支出	174,980
	施設関係支出	1,715,800
	設備関係支出	16,050
	資産運用支出	352,000
	その他の支出	62,553
	予備費	50,000
	資金支出調整勘定	△ 18,545
	次年度繰越支払資金	999,451
	支出の部合計	4,936,699

消費収支予算書

項	目	金額 (単位千円)	
収入の部	学生生徒納付金	938,156	
	手数料	32,530	
	寄付金	89,100	
	補助金	1,001,869	
	資産運用収入	25,870	
	資産売却差額	3,100	
	雑収入	6,550	
	帰属収入合計	2,097,175	
	基本金組入額	△ 1,159,950	
	消費収入合計	937,225	
	支出の部	人件費	1,265,820
		教育管理経費	455,870
		借入金等利息	12,670
資産処分差額		160,400	
予備費		25,000	
消費支出の部合計	1,919,760		
消費収支差額	△ 982,535		
前年度繰越消費収入超過額	△ 2,557		
翌年度繰越消費収入超過額	△ 985,092		

2009年度予算

2009年度の主な事業予定

施設設備充実のために2010年度中の完成をめどに、校舎改築工事が進行中です。今年度8月末には、体育館・プール及び校舎1棟が完成いたします。その後、1号館が取り壊され2期工事に着手します。

※校舎建築に関する資金について

愛知県からの施設補助金を申請しています。
減価償却特定資産の取り崩しを行います。
校舎建築積立金は2010年度末に7億5千万円に達します。
120周年記念事業募金を引き続き行います。

※消費収支予算について

基本金組入額(今年度完成の体育館・プール棟と校舎建設支払金)が多額のため消費収支差額がマイナスとなります。